

落語と音楽ライブの異種格闘技戦「スペシャ寄席 其の四～フラカン 全開の噺 編～」
ロックンロールと落語が見事に融合、熱気と笑いと感動に包まれ終了！
本日10月6日(金)18:00よりPIA LIVE STREAMにて配信スタート！

株式会社スペースシャワーネットワーク(代表取締役社長:林吉人、本社:東京都港区)は、
「スペシャ寄席 其の四～フラカン 全開の噺 編～」を10月2日(月)北とぴあ つつじホールで開催いたしました

スペシャ寄席



落語と音楽ライブを交互に披露する、今までにない斬新なスタイルで開催されきたスペシャ寄席。
これまでに2021年大阪、2022年東京、そしてSWEET LOVE SHOWERとのコラボレーションと
3回開催、4回目となる今回は、ライブアクトにフラワーカンパニーズ、落語家に桂 雀太、笑福亭 笑利を迎え、
初のバンドセットのコラボレーション。

バンドセットの中に置かれた高座、違和感しかないステージセットに、一体これから何が始まるのか！？
出演者ですら当日までどんなステージになるのか分からない、
そんな状況の中スタートした約2時間ノンストップエンターテインメント。
ロックンロールと落語、コトバとコトバのぶつかり合いは、
今回もまた想像以上のコラボレーションを生み出し、会場は熱気と笑いと感動に包まれた。

この模様を、本日10月6日(金)18:00より、PIA LIVE STREAMにて、配信視聴がスタート！
残念ながら会場で見れなかったお客さんは、この機会に是非、新しいエンタテイメントの形、
スペシャ寄席を体験してほしい。

今までにないカルチャーの融合、お見逃しなく！

※配信視聴の際は、出来るだけ没頭できる環境で、ご視聴頂けるとよりお楽しみ頂けます。

<本件に関するお問い合わせ先>
株式会社スペースシャワーネットワーク
ライブ・コンテンツ事業本部 担当:栗花落 崇(tsu Yuri@spaceshower.net)



スペースシャワー寄席

【配信概要】

公演名 : スペシャ寄席 其の四～フラカン 全開の噺 編～
配信期間 : 10月6日(金)18:00～10月13日(金)23:59
出演 : フラワーカンパニーズ / 桂 雀太 / 笑福亭 笑利 /
樋口大喜(MC)
配信視聴料金 : 2,500円(税込)
チケット : 10月13日(金)21:00まで発売中
<https://w.pia.jp/t/spsyose/>
配信先 : PIA LIVE STREAM

<出演者>



フラワーカンパニーズ



桂 雀太



樋口大喜



笑福亭 笑利

ライブレポート

text by 兵庫慎司

2023年10月2日(月)18:30、東京都北区王子の北とぴあつつじホールにて、『スペシャ寄席 其の四～フラカン 全開の噺 編～』が開催された。

スペースシャワーTVによる落語と音楽のイベントで、今回で四度目の開催。出演はフラカン・カンパニーズと桂雀太と笑福亭笑利。MCはFM802の樋口大喜が務めた。

この『スペシャ寄席』が行われるのは、2021年7月19日大阪・umeda TRAD、2022年2月16日東京・北とぴあつつじホール、2022年8月28日『SWEET LOVE SHOWER 2022』GOOD VIBES エリア特設ステージに続き、これで四度目。

これまでの三回は、弾き語りのアーティスト落語が共演する「語り×語り」のステージだったが、今回は初めてバンドの生演奏&生歌と落語の「語り」が共にステージに上がる、という企画になった。

今回のスペシャ寄席にテーマがあるとするなら、「人間一生夢の如し」。人生というのは夢のように儚い、泥くさくて美しい、そういったテーマが今日はぴったりだと思う。この板の上一枚、泥くさく輝きを放つ、人間物語をぜひご堪能ください——樋口大喜は前説をそう締めくくり、トップの笑福亭笑利を呼び込んだ。

フラカンの機材が並び、ミスター小西のドラムセットと竹安堅一のギターアンプの間に、赤い布で覆われた高座がしつらえられ、その右にはめくりが用意されたステージに、笑福亭笑利が登場。

座布団一枚あればできる商売であるゆえに、とんでもないところで落語をやる羽目になることもある、たとえば——というマクラで、客席を「あつためる」を超えて「沸かせる」状態まで持って行ってから、ネタに入る。

演目は『いらち俵』。俵屋、つまり人力車で急いで大阪駅まで行きたいが、一台目はボロい上に俵屋が病弱で遅くて話にならず、次に拾った俵は、一度走り出したら止まらなくて、危なっかしくて往生する、という噺である。

後半、その止まらない俵屋が、このまま行ったら市電に衝突する——というあたりで、フラカンの4人がそっとステージに現れ、鈴木圭介がハープでその市電の汽笛を表すと、竹安堅一がボトルネックでアコースティック・ギターを奏で始め、続いてグレートマエカワのベースとミスター小西のキックが加わり——「夢の列車」という曲のイントロと、笑利の噺が、じわじわとミックスされていく。

噺がクライマックス→オチを迎えると、笑利が去り、本格的に曲が始まり、フラカンの時間がスタート。2曲目は最新アルバムから「行ってきまーす」、そして先頃リリースされたばかりのニューシングルの2曲＝「気持ちいい顔でお願いします」と「セミ・ロング」。落語からシームレスに始まったこともあり、オーディエンスは座ったままだが、腕を振り上げたり、ハンドクラップをしたりして、4人の演奏に応えている。

「フラカン、北区、初登場じゃない？」「噺家さんと一緒にやるのも初めて。今日、決め事がけっこうあったから、こんなに緊張する『夢の列車』は初めてだった」などと、最初のMCで言い合うグレートマエカワと鈴木圭介。

高校の時、落語研究クラブに入っていて、1年の最後に一席やらないといけなくて、『時そば』をやった、と圭介。「あんなきついことはなかった、今までの舞台でいちばん厳しかったです」とのこと。

そこから「履歴書」と「この胸の中だけ」と、圭介がアコースティック・ギターを弾きながら歌う2曲を経て、MCに入ると笑福亭笑利を呼びこみ、改めて紹介する。

笑利は紙切り芸ができる、ということで、この場で披露することになるが、「普段はソデで、太鼓と三味線で音を鳴らしてもらったりするんですけど、せっかくなんで——」というリクエストで、フラカンの4人がアドリブでジャンプ・ブルース調のインストを奏で始める(圭介はハープ)。笑利、それに乗せて、しゃべりながら紙切りを始めるが、バンドの音がどんどん大きくなってその声をかき消し、「でかいでかいでかい！」と演奏を止める。

というふうに、演奏が紙切りを妨げて、笑利がつっこんで音を止める——というコラボコントを、このあとさらに二回繰り返した。しかも毎回違う曲調で。客席、大笑い&拍手。

三度目のトライで完成した、笑利による切り絵は、「グレートマエカワの似顔絵」。見事な出来栄で、客席、また大拍手、グレート本人も「最高、すごい！」と称賛する。その切り絵は終演後、ロビーに飾られ、観客みんな、帰り際に写真を撮っていた。

なお、このブロック、決め事ゼロの完全アドリブだったそうで、グレート「スリリングだった！でも息ぴったりだったもんな、さすがだよ！」と、また笑利を称賛した。

そのコーナーの途中で笑利が「お客さん、後半は立って盛り上がっていただければ」と、呼びかけたこともあって、そこからはオーディエンスみんな、立ち上がってライブを楽しむ。後半ブロックは「右脳と左脳」「人は人」「NUDE CORE ROCK'N ROLL」「三十三年寝太郎BOP」の4曲。

ラストの「三十三年寝太郎BOP」の、最後の一音が消えないうちに、桂雀太がスッと高座に上がり、噺が始まる。自分や樋口大喜や笑福亭笑利などで始めた『CLUBHOUSE寄席』が当たって、スペースシャワーTVからこのイベントの話が来て、いろいろあって、今日のこの日を迎えている——と、まず、このイベントの成り立ちを説明する。

そして「免疫力を高めるナチュラルキラー細胞は、笑うと活性化する」という導入のマクラで、何度も客に笑い声を上げさせてから披露したのは、江戸落語では『芝浜』の名で知られる、東でも西でも多くの大物噺家が得意にしてきた大ネタ、『夢の革財布』。

「おもしろい」「笑わせる」で留まらない、「鬼気迫る」とはまさにこのこと、と言いたくなる、聴く者を噺の世界にぐいぐい引き込む大熱演で、ここにいる皆をがっちりつかんだ。

その『夢の革財布』の後半のヤマ場で、もとの噺にはない「生きていてよかった」というセリフが織り込まれる。そして、下げを迎え、大きな拍手の中、雀太が頭を下げて高座を下りると、登場したフラワーカンパニーズが噺を締めるように「深夜高速」を演奏し始めた。

噺家とミュージシャンが、落語と歌が共演する、というだけでなく、それぞれの表現が有機的に絡み合っって新しい何かになる、本来の意味での「コラボレーション」を生み出していく、ということが、この『スペシャ寄席』が目指すところなのだろう。バンド編成での演奏だったことや、噺家とバンドの呼吸の合いっぴりが見事だったことなどが、すべていい方向に出て、過去最高の化学反応を起こしていたのが、この夜だったのではないか。

「深夜高速」のあと、最後に来場者への挨拶として、出演者全員でのトークの時間がちょっと設けられた。そこで桂雀太はこう言った。

「全国回れるんちゃうか？」

笑福亭笑利は、それにかぶせてフラカンに言った。

「ほな、最近買ったハイエース、乗してもうていいですか？」

この日のステージの様子は、10月6日(金)18:00から、PIA LIVE STREAMで配信される。

【配信詳細】

PIA LIVE STREAMにて配信チケット発売中！！

【配信期間】 10月6日(金)18:00～10月13日(金)23:59

【発売期間】 10月13日(金)21:00まで

【チケット料金】:2,500円(税込)

<チケット・イベント詳細はチケットサイトよりご確認ください>

<https://w.pia.jp/t/spsyose/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社スペースシャワーネットワーク

ライブ・コンテンツ事業本部 担当:栗花落 崇(tsu Yuri@spaceshower.net)

